

令和2年7月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

## 令和2年7月定例教育委員会会議録

### 1 開催日時、会場

令和2年7月27日（月） 15時30分～17時50分  
川西庁舎 1階 地域活動室

### 2 出席

蔵品泰治教育長、佐藤美佐子委員、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員

### 3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長補佐（相場俊伸）、情報館長（長谷川智）

### 4 会議の内容

#### （1）会議録署名委員の指名

署名委員：佐藤委員、庭野委員

#### （2）報告事項

##### ① 共催・後援等報告

・資料のとおり

##### ② 報告第1号 十日町市文化協会連合会補助金交付要綱の制定について

蔵品教育長

・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

・資料に基づき説明

廣田委員

・文化協会連合会の事務局は、今まで市であったものを文化協会連合会に補助金を増額して事務局を渡すということだが、補助事業の実績はどのようなものになるのか。

鈴木生涯学習課長

・文化協会連合会の総会における資料、各理事会の開催状況などを実績として報告していただき、補助金交付することになるだろう。

廣田委員

・事業というよりは事務費的な補助金となるのか。

鈴木生涯学習課長

・生涯学習課が事務局として、総会や理事会の準備等を行ってきた。加えて近年は、文化ホールでのイベント開催があり、実施主体としてその準備にあたってきた。文化ホールが指定管理に移行するタイミングで、補助金を増額することで文化協会連合会に事務局をお願いしたものである。

庭野委員

- ・昨年度、岡田正平写真展の際に、文化協会連合会から補助金をいただいたが、それはこの補助金にあたるのか。

鈴木生涯学習課長

- ・岡田正平氏の孫にあたる方のコンサートと共催で写真展を実施し、その際に補助している。名称は、「ラ・フォンテベルデ クリスマスコンサートと岡田正平展」である。

(以上の質疑のあと了承された)

② 報告第2号 屋外プール3施設の夏期開設の中止および十日町市プール利用券の発行について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

相場スポーツ振興課長補佐

- ・資料に基づき説明

佐藤委員

- ・夏休みに子どもたちがプールに入れないのは可哀そうなので、このような対応はありがたいと思う。しかし、平日は保護者が付き添えないため、実際に子どもたちが行けるかどうかは難しいと思う。バスによる送迎を計画できれば良かったと思う。

庭野委員

- ・学校の夏休みのプール開放はできないのか。

山本学校教育課長

- ・一部の小規模な小学校では、感染症対策を行ったうえでプール開放をしているが、ほとんどの学校がプール開放をしていない。

浅田委員

- ・ひだまりプールの利用料金に比べてプール利用券の方が安いけれど、ひだまりプールを通常利用している人が利用券を使っても良いのか。

相場スポーツ振興課長補佐

- ・利用いただいて構わない。

(以上の質疑のあと了承された)

(3) 議決事項

① 議案第1号 令和2年度(令和元年度実績)十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について

蔵品教育長

- ・事務局の担当課毎に区切って説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・学校教育課関係について、資料に基づき説明

#### 廣田委員

- ・いじめと不登校については、いじめが要因で不登校になるだけではなく、そのほかの要因があると思う。項目をいじめと不登校に分けて考えることが必要ではないか。また、「平準化（スタンダード化）」という表現が適切かどうか再考願う。

#### 山本学校教育課長

- ・「学校教育のめあて」では、いじめの側面は入っておらず、不登校児童生徒の減少となっている。個別の案件で問題視しているものについて、生徒指導的な立場から問題をとらえて解決を図っていききたいということから、いじめと不登校を同じ項目の中で取り組んでいる。いじめと不登校の因果関係を密接にとらえているものではなく、項目を分けることについては検討材料としたい。平準化、スタンダード化については、どの学校でも同じ水準で対応ができるよう、学校の指導力を維持したいという思いからこの言葉になっている。適切な文言になるように、必要であれば修正をしたいと思う。

#### 庭野委員

- ・廣田委員の意見のとおり、いじめと不登校を分けた方が良いと思う。不登校は、多種多様になっており、家庭と学校が寄り添う形でないとうまくいかないと思う。もう1点、1ページの課題・改善策に「人間関係づくりや集団づくりについて、指導・支援を行う。」とあるが、具体的にはどういうことを行っているのか。特別支援教育では、年6回の「特別支援教育研修講座」と年1回「特別支援教育研修公開講座」を行っていることに比べて、集団づくりについては弱いのではないか。子どもたちの人間関係づくりへの理解とそのため研修が必要だと思う。上越教育大の赤坂先生は、講師で来られているだろうか。

#### 山本学校教育課長

- ・令和元年度は、3回お越し頂いた。お忙しい方なので、日程がなかなか合わない。

#### 庭野委員

- ・赤坂先生の学級経営についての本を読んだが、話を聞くだけの研修ではなく、もう少し実際の学級づくりや子どもたちの人間関係づくりに、踏み込んだ研修をしてほしい。

#### 佐藤委員

- ・「読書時間が、小中学校とも減少した。」とあるが、原因を把握しているのか。

#### 山本学校教育課長

- ・原因などの詳細は記載しなかったものである。小学校については、特別な支援が必要な子どもが増えたことや、入学当初の子どもたちの学校生活への適応が難しい面があるように思う。

#### 浅田委員

- ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、今後の支援のあり方をその都度変えて対応してほしいと思う。

#### 廣田委員

- 学校コーディネーターを2年間務め、市の研修会や県の教育センターが行う新潟市会場の研修会にも参加したところ、コーディネーターが30代くらいの若い人ばかりで、もう10年くらいコーディネーターをされていると聞いた。十日町市では3年目になる。最初は地域のことをよく知っている人がコーディネーターになる方が良いと思うが、ある程度進んで地域の人が学校へ来るようになると、その人たちと先生の間で立って世話をすることなどが、コーディネーターの役割になってくる。ある程度学校へ通うことができ、地域の人が学校へ来るようなときには、学校でその人たちを迎える準備をすることや、後で問題点を学校と相談するなどの役割を担うことができる人が良いと思う。

#### 富井教育総務課長

- 教育総務課関係について、資料に基づき説明

#### 廣田委員

- 特別教室のエアコン設置について、新聞記事に学校には行くが普通教室に入れずに別の部屋で過ごす子どもがいて、そこにはエアコンがないということであった。市内の学校でもそういう状況であれば、優先的にエアコンを設置してほしい。

#### 富井教育総務課長

- 学校によっては特別教室にもエアコンが入っているところがある。入っていない特別教室を優先的に、エアコン設置することになるだろう。

#### 佐藤委員

- 既存の学校にエレベーターを設置する工事は簡単にできないのか。新型コロナウイルス対策で、ランチルームと普通教室に分散して給食を食べているが、階段を使って給食を運搬している。ランチルームのある階までは、物品運搬用のエレベーターがある。この状況が続くことも考えられるため、人も乗れるような他の階までのエレベーターを設置できないか。

#### 富井教育総務課長

- 建物の構造から設置できるかを確認しないと何とも言えない。基本的には、学校にその規模のエレベーターを設置することを想定していなかった。学校ごとに課題があるため、その優先度を判断しながら考えたい。

#### 佐藤委員

- 新型コロナウイルスの問題で、望ましい教育環境について、大勢が集まるのが良いのかどうか。コミュニティ・スクールの推進ということからも、適切かどうかをもう一度考えてほしいと思う。

#### 鈴木生涯学習課長

- 生涯学習課・森の学校キョロロ及び公民館関係について、資料に基づき説明

#### 長谷川情報館長

- 情報館関係について、資料に基づき説明

廣田委員

- ・人材バンクが整理されて、非常に良かったと思う。要望として、備考欄にこれまで何回講師で派遣されたなどの状況を記載してあると、頼みやすくなると思う。

鈴木生涯学習課長

- ・2年に1回更新しているものである。通常は、3月頃に公民館を通じて紹介しているのだが、新型コロナウイルスの影響でようやく主催事業が動き出した状態であり、周知が足りなかったと思う。派遣の実績は、件数が少ないことから記載できるようなら載せていきたい。

廣田委員

- ・事務局というより、更新の時に本人から書いてもらう方がいいのではないか。公民館を通さなくても、地域では有名な方は、いろいろ呼ばれていると思う。

庭野委員

- ・志賀卯助の蝶コレクションをどれだけ市民が知っているか、もっとアピールして良いと思う。2つ目に情報館で、著名な方が亡くなられた際には、その方の本を並べて特集したことは感心しているので、ぜひいろいろな方を特集してほしい。先般、情報館の20周年記念誌への寄稿を依頼されたが、いつ発行されるのか。

長谷川情報館長

- ・専任の担当が着任したので、8月中には何とか発行したいと思う。1点目については、何かあったときに展示図書を行った。これからもタイムリーなものを計画したいと思う。

佐藤委員

- ・情報館まで出向けない子どもたちや時間がなくて行けない人などもあると思うので、利用しやすい分館の活用を大事にしてほしい。

浅田委員

- ・公民館活動に子どもと参加した際に、子どもが興味を持って良い経験をしたと思うので、厳しい状況があると思うが、ぜひ継続してほしいと思う。

庭野委員

- ・小学生には読み聞かせなどを行っているが、時間がない中学生、高校生が本を読めるように、読んでほしい本を紹介するなど、本を読んでみようと思う取り組みをしてほしい。

佐野文化財課長

- ・文化財課及び博物館関係について、資料に基づき説明

庭野委員

- ・安吾フェス in 十日町で講演された、映画「白痴」の監督の手塚眞さんが、手塚治虫さんの息子ということと、手塚治虫さんの奥さんの親が中条出身ということで本市と縁があるので、手塚治虫の漫画展を開催してはどうか。別の視点でアピールできるのではないか。

長谷川情報館長

- ・手塚治虫さんの奥さんの岡田家の話を吉村市議から聞いている。情報館と博物館で連携できるかどうかを検討したいと思う。

庭野委員

- ・新潟県は、有名な漫画家を輩出しているということで、スポットを当てて情報館に著名な漫画家の作品を蔵書すればいいのではないか。その漫画文化を作ったのは間違いなく手塚治虫さんであり、価値のあるものだと思う。

長谷川情報館長

- ・情報館で漫画を借りる方もいることを考えると、手塚治虫さんの漫画もあると思うので、目立つように検討したい。

蔵品教育長

- ・生誕何十周年や没後何周年などの節目に企画してはどうか。

相場スポーツ振興課長補佐

- ・スポーツ振興課関係について、資料に基づき説明

庭野委員

- ・関連するか分からないが、新聞記事で服部勇馬さんが、「雪国はハンデではない」と言っている。こういった素晴らしい方が、将来的に十日町市又は県内に戻って来れるように、関係者が情報交換と交流するべきだと思う。

廣田委員

- ・中学校の部活動でスポーツ関係では、生徒数が減少し、教員も限られた人数となり、野球部と陸上部しかないなどと聞いた。子どもたちの選択肢が無くなってきて、ひとつの学校ではチームを組むにも人数が揃わない。社会人と一緒に活動することや外部指導者の派遣もあるようだが、何か対策を検討できないか。

相場スポーツ振興課長補佐

- ・中学校で部活動をすることは、大人になって生涯スポーツにつながるという効果があると思う。クラブチームとの連携もできるが、大会に出られないなどの難しい面もあることから、中学校の部活動にこだわることになる。競技をするうえでは、一般の競技団体に入って活動することもできる。チームの人数が減っていくことは課題であると思う。

庭野委員

- ・高校野球でさえ連合チームになってきた。少子化ではそうなるものであり、学校対抗を脇に置いて、体協関係者が話し合いにより、どうあるべきかを考えなければならぬと思う。

(以上の質疑のあと決定した)

② 議案第2号 令和3年度使用中学校教科用図書採択について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長  
・資料に基づき説明

(特に質疑はなく決定した)

③ 議案第3号 第二次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定  
について

蔵品教育長  
・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長  
・資料に基づき説明

廣田委員  
・報酬や費用弁償はどうなっているか。

長谷川情報館長  
・費用弁償は距離により実費計算している。委員の多くは学校の教員、または保育士であるため報酬は無いが、そうではない数名の方には報酬を支払う。

(以上の質疑のあと決定した)

5 その他

- ① 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- ② 最近の動きについて  
・各部長、各課長等が資料に基づき説明
- ③ 8月の主な行事予定について  
・資料に基づき説明
- ④ 次回の教育委員会の開催日時  
・8月定例会 8月26日(水) 13時30分から開催することを確認した。

以上で、17時50分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記